

1 県営電気事業について

神奈川県営電気事業は、「水力発電」と「水の供給」（上水道、工業用水の原水）を目的として、昭和13年に相模川河水統制事業を発足させ、相模ダム、沼本ダムを建設しました。昭和18年には津久井発電所、昭和20年には相模発電所の運転を開始しています。その後も再生可能エネルギーである水力発電所・太陽光発電所の建設を進め、県民生活の向上や県内経済の発展、脱炭素社会の実現に貢献しています。

また、昭和40年には、全国公営電気事業の中では唯一の揚水式発電所（※）である城山発電所の運営も開始し、電力の需給調整に貢献しています。

※ 揚水式発電所は、電気の使用が少ない夜間や、太陽光発電等の電力供給が需要を上回る際の余剰電力を使い水を汲み上げておき、電力ひっ迫時に速やかに大出力で発電するなど、「巨大な蓄電池」とも言える調整機能を有する発電所です。

2 県営電気事業施設概要図



3 対象発電所

・一般水力発電所

発電所名	所在地	最大出力[kW]
相模発電所	相模原市緑区若柳	31,000
津久井発電所	相模原市緑区谷ヶ原二丁目	25,000
道志第1発電所	相模原市緑区牧野	10,500
道志第2発電所	相模原市緑区牧野	1,050
道志第3発電所	相模原市緑区牧野	1,000
道志第4発電所	相模原市緑区牧野	59
愛川第1発電所	愛甲郡愛川町半原	24,200
愛川第2発電所	愛甲郡愛川町半原	1,200
早川発電所	足柄下郡箱根町宮城野	2,900
柿生発電所	川崎市麻生区黒川	680
計		97,589

・揚水式発電所

発電所名	所在地	最大出力[kW]
城山発電所	相模原市緑区川尻	250,000

図：揚水式発電所の仕組み

